

別記様式第7号

公益信託ぎふNPOはつらつファンド
実績報告書(事業助成用)

平成18年10月27日

公益信託ぎふNPOはつらつファンド受託者
三菱UFJ信託銀行株式会社 あて

住 所: 〒 506-0105
岐阜県高山市清見町三ッ谷2310番地313

法人(団体)名: 特定非営利活動法人
ルピナス

印

代表者名: 愛智 律子

公益信託ぎふNPOはつらつファンドから平成17年度(後期)の事業助成を受けた事業が完了しましたので、下記のとおり関係書類を添えて報告します。

記

1. 事業名

災害救援活動

2. 助成の種類 該当するものに を付けてください。

法人設立準備助成	立ち上げ時事業助成	展開期事業助成	人材育成事業助成
----------	-----------	---------	----------

3. 助成金額

既交付金額	1,000,000円
実績額	985,000円
差し引き額	15,000円

4. 事業実施期間

平成17年10月1日 ~ 平成18年9月30日 (1年間)

5. 実施した事業の実績・成果

(1) 具体的な活動状況（実施日時、場所(住所)、対象者、参加者等）

1. 災害救援システム検討委員会（4回）検討委員13名
 第1回平成17年11月19日 13:00～14:30 委員10名 桐生福祉センター交流スペース
 第2回平成17年12月3日 13:00～14:00 委員8名 桐生福祉センター交流スペース
 第3回平成18年3月4日 13:00～14:45 委員11名 煥章館学習ホール
 第4回平成18年8月18日 16:00～17:30 委員6名 グリーンホテル客室
2. 登録ナース募集 郵送と市民時報・一般新聞への掲載等で募集
 平成18年5月13日で120名となる。
3. 避難所シュミレーション学習会
 平成18年7月19日 19:30～21:00 三福寺研修センター 参加者40名
 平成18年8月21日 10:15～11:15 森下町ふれあい会館 参加者20名
4. 研修及び学習会
 平成17年12月3日 14:00～15:30 桐生福祉センター学習会
 川上哲也氏「誰にだってできることは必ずある」
 平成18年8月5日～6日 宿泊研修 すずらんの家 2日間参加者のべ 20名
5. 市主催で9月3日に防災訓練が開催されたが、都合により参加できなかった。

(2) 活動の成果（開催行事等の参加規模、目的の達成度、効果等）

1. ナースOBを中心に13名の検討委員を編成し4回の検討委員会を開催。専門職ボランティアとしての目的・目標・役割と心得・曜日班体制・看護活動記録様式・携帯品などについて検討し要綱を決定することができた。
2. 5月13日に講演会及び登録ナースの結団式を開催（参加者92名）。その際に看護学生自治会の登録があり、いっきに120名の登録ナースという大きな組織となった。
3. 地域の避難所を会場に2回避難所シュミレーション学習会を開催することができた。住民の反応も良好で、今後の活動のヒントを得ることもできた。地元の新聞社の取材もあり、地域に向け学習の必要性をアピールすることができたと考えられる。
4. 学習会開催 テーマ「誰にだってできることは必ずある」講師：川上哲也氏
 災害についての考え方、専門職ボランティアとして何をすべきかを考える機会となった。
5. 宿泊研修開催 登録ナース相互の交流を図り、班体制活動時のチームワークに役立てることを目的に開催した。
 【内容】・避難所における排泄問題についてグループワーク
 ・中越地震災害活動の体験からの講義
 ・AED講座の受講
 参加者一同、学習を積み重ねることの大切さを痛感した。

(3) 今後の課題

- 1 . 曜日班体制の整備
曜日班の班長の決定していない班が2班ある。班員の割り当ても整備する必要がある。また最小限の看護活動用品として役立てるために備品も補充したい。
- 2 . 年1回であるが、宿泊研修として実際に即した意義のある内容とするための企画が必要である。
- 3 . 避難所を会場にした学習会の開催のためには、町内会などの理解を得るための方策の検討が必要である。